

## 1 水道の普及

本県の水道は、甲府市が大正2年3月に給水人口10万人の施設を創設したのを初めとして、昭和10年までに上野原町、都留市、河口湖南水道企業団、大月市、勝沼町、富士吉田市が創設し、現在17施設の上水道が県内総人口の約80%の人々の生活を担っている。

しかし、簡易水道への依存率は依然として高く、事業の経営規模も給水人口300人以下の小規模のものが多い。

水道の普及は、戦後の生活水準の向上と衛生思想の普及、昭和27年の簡易水道に対する国庫補助制度の創設、さらに、昭和30年代からの経済成長に伴う施設数、給水人口、給水量の増加、昭和38年度の県単補助制度の創設等によって促され、昭和51年度には90%台に達した。

以後、昭和54年度に山梨県水道整備基本構想を策定し、未普及地域の解消や広域的な水道整備促進に努めてきた。

平成30年度末の給水人口は814,198人で、総人口828,496人に対する普及率は、98.3%である。

市町村別の普及率は、市98.8%、町97.7%、村83.0%となっており、村の普及率が市町の普及率に比べて低い現状にある。

普及率が95%以上の市町村は21団体、75%未満は2団体である。

### 現在給水人口と普及率

(平成31年3月31日現在)

(単位：人)

区 分		市	町	村	計	
総 人 口		704,449	102,538	21,509	828,496	
給 水 人 口	上 水 道	599,897	61,225	4,635	665,757	
	簡易水道	95,618	38,864	10,885	145,367	
	内 訳	公 営	95,618	38,864	10,668	145,150
		その他	0	0	217	217
	専用水道	644	88	2,342	3,074	
計		696,159	100,177	17,862	814,198	
普 及 率 (%)		98.8%	97.7%	83.0%	98.3%	